



CPDM

Center for Photodynamic Medicine
Kochi Medical School, Kochi University

NEWS LETTER 光線医療センター

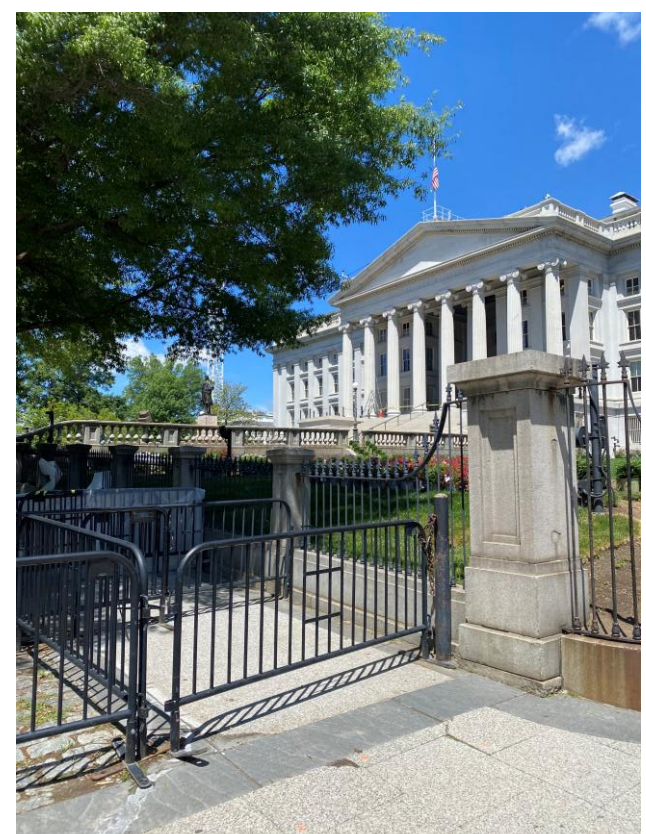
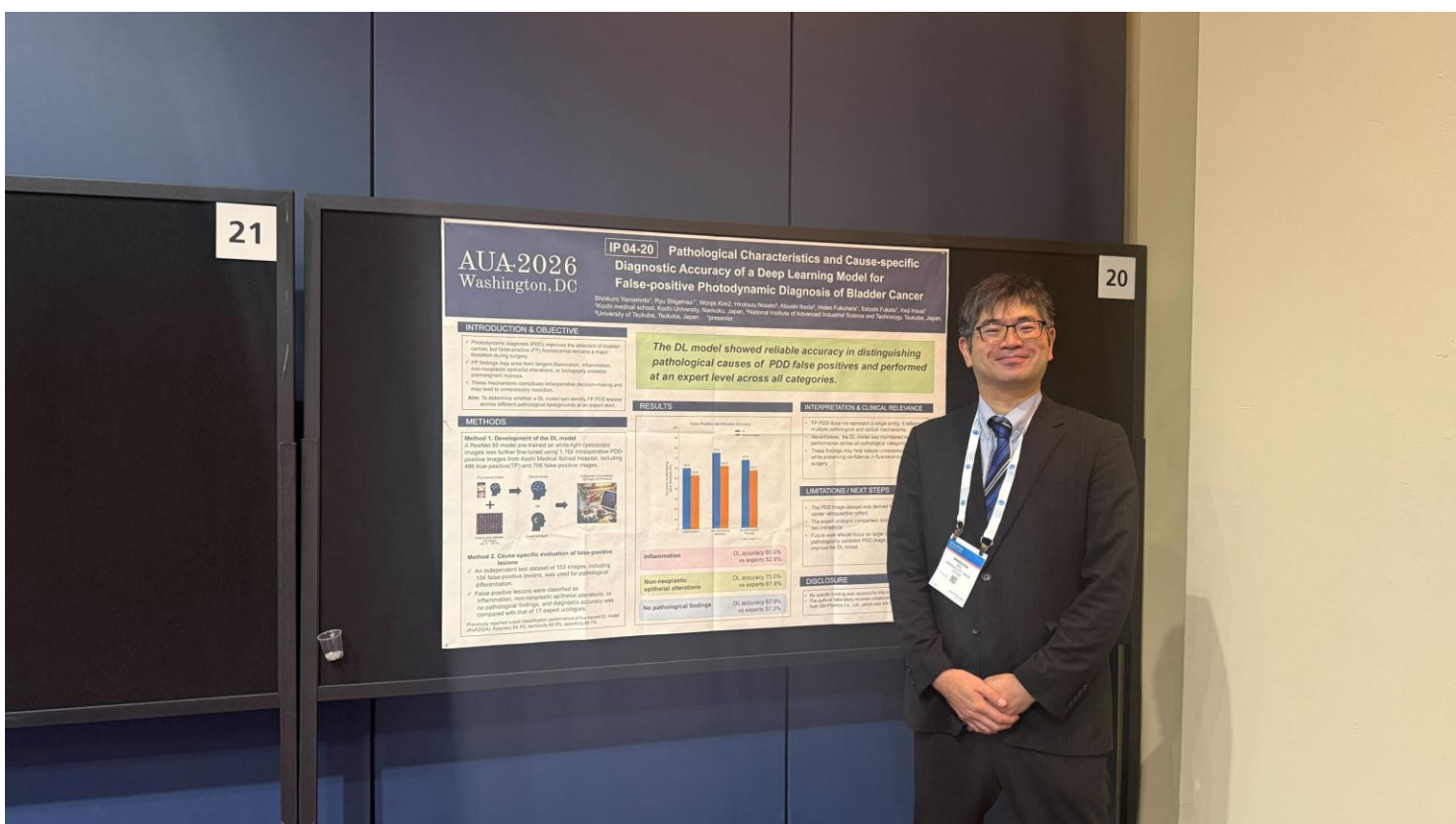
2026年 第6号

重久 立先生が国際学会(米国泌尿器科学会)で発表を行いました。

2026年5月15日～18日に、アメリカ・ワシントンD.C.にて開催された、世界最大級の米国泌尿器科学会である American Urological Association Annual Meeting (AUA2026) が開催されました。本学会では、採択率約30%という狭き門の中、光線医療センターからは山本新九郎先生の演題が採択され、大学院生の重久立先生が現地にて発表を行いました。

現地では、共同研究者である産業技術総合研究所の野里先生、筑波大学の池田先生とも合流し、泌尿器科領域における最新の研究動向や技術開発について活発な議論を行うことができました。世界中の研究者・臨床医が集う国際学会ならではの刺激を受け、今後の研究発展に向けて大変有意義な機会となりました！！

今回得られた知見や国際的なネットワークを今後の研究・臨床応用へとつなげ、さらなる成果創出に取り組んでまいります！！



光線医療 関連発表

下記の光線医療関連の発表が行われました。

[筆頭] 藤澤和音(外科学講座)

“腹腔鏡下膵体尾部切除術におけるICG蛍光法を用いた脾動脈の描出”

2026年6月5日第9回日本蛍光ガイド手術研究会学術集会、加賀市

[筆頭] 並川努(外科学講座)

“絞扼性腸閉塞におけるICG蛍光法による血流評価多施設共同前向き観察研究”

2026年6月5日第9回日本蛍光ガイド手術研究会学術集会、加賀市

[筆頭] 瀬尾 智(外科学講座)

“ICG蛍光ガイドで変わった肝胆膵手術の今と未来”

2026年6月5日第9回日本蛍光ガイド手術研究会学術集会、加賀市

[筆頭] 北川博之(外科学講座)

“ICG蛍光プロジェクションマッピングを用いた食道がん手術における再建胃管の血流評価”

2026年6月5日第9回日本蛍光ガイド手術研究会学術集会、加賀市

[筆頭] 相田真咲(外科学講座)

“右側肝円索に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術におけるICG蛍光胆道造影の有用性”

2026年6月7日第43回日本胆膵病態・生理研究会、東京

[筆頭] 瀬尾 智(外科学講座)

“SS胆嚢癌に対する至適肝切除範囲決定を目指した胆嚢静脈還流域の可視化”

2026年6月7日第43回日本胆膵病態・生理研究会、東京

[筆頭] 重久 立(泌尿器科学講座)

“膀胱癌における光線力学診断偽陰性病変の分子病理学的解析～同一症例内のPDD陽性病変との比較～”

2026年5月23日第36回日本光線力学学会学術講演会、高知

[筆頭] 重久 立(泌尿器科学講座)

“尿路上皮癌細胞株に対するALA-PDTとFGFR阻害薬併用の抗腫瘍効果”

2026年5月23日第36回日本光線力学学会学術講演会、高知

[筆頭] 山本 新九郎(泌尿器科学講座)

“光線力学技術と人工知能の融合による泌尿器科手術支援システム開発”

2026年5月23日第36回日本光線力学学会学術講演会、高知

【筆頭】川西 裕(脳外科学講座)

“ICG内視鏡を用いた脳実質内腫瘍の術中蛍光診断”

2026年5月22日第22回日本脳神経外科光線力学学会、高知

光線医療センター ニュースレター

2026年 6月 25日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

(高知大学医学部 光線医療センター センター長)

文責：福原 秀雄

<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>